

未来に向かって 一人一人が輝く！ だより

ようこそ 高雄日本人学校へ

本校が位置する高雄市は台湾第3の人口を有する港湾都市です。1年を通した温暖な気候と、人々の温かさが大変心地よく、私たち日本人にとって、とても住みやすい台湾の都市の一つです。

そんな恵まれた環境にある高雄日本人学校は、令和6年度で創立55年を迎える歴史ある学校です。小学部1年生から中学部3年生までが同じ校舎の中で学び、ときには活動を共にしながら、学習活動を行っています。子供たち同士の仲がよく、お互いに認め、励まし合いながら生活しているところが、本校の長所の一つです。

学校職員は、文部科学省からの派遣教員をはじめ、現地採用職員、台湾人職員、ALTによって構成されており、それぞれの職員がもつ豊かな経験や強みを十分に発揮し、日々の教科・生活指導を行っています。

校訓「たくましい子 考える子 思いやりのある子」のもと、お預かりしたお子様を大切に育ててまいります。皆様の高雄日本人学校へのお越しを心からお待ちしております。

小1 探検

小2
買い物体験



英語教育一人一授業（互見授業）の実践

◇児童生徒の学力向上のためには、教師の指導力・授業力向上が不可欠です。高雄日本人学校では、全職員が「一人一授業」として、校内研究の年間計画に沿って、研究授業を実施しています。教師がお互いに授業を見せ合い、授業後は「対話的な学びができていたか」などについて協議し、児童生徒の学力向上のための授業づくりに努め、小学部と中学部、各教科、そして、出身都道府県の枠を超えて、お互いの授業を磨き合っています。



詳細はこちらから！



めざす子どもの姿
「たくましい子」
「考える子」
「思いやりのある子」

読み聞かせ



一人一授業



7月18日に夏休み前集會が行われました。学年の代表がまとめと夏休みの過ごし方を立派に発表してくれました。夏休み明けに児童生徒の夏の思い出を聞けることを楽しみにしています。健康や安全面に気を付けて充実した夏休みを過ごしてくださいね。

夏休み前集會



ハイコーくん



美化委員発表



WIND SPRINT

校訓『高雄の子供』
たくましい子 考える子 思いやりのある子

高雄日本人学校
小学部2年 学級だより
担任 佐々木 渉

買い物学習



7月9日に各々が100元を握りしめ、全聯へ買い物学習に出かけました。MRTで五塊厝へ移動しました。行儀よく乗車できていました。全聯に着くと、まずマネージャーの顔さんへ質問タイムです。中国語で質問をしました。どの子も流暢でびっくり。皆さん、知っていましたか？冷凍食品は仕入れ先から指示された通りに売り場に並べるそうです。「へえ。」と思うことが多々ありました。

次は、買い物です。色々な売り場を見ながら、家族と相談した物を探したり、自分の欲しいものを探したりと楽しそうでした。驚いたのは、カップ焼きそばを買う子が多かったことです。おなかがすいていたのかな？ともあれ、スーパーマーケットの仕組みや、買い物の方法を学べたようです。

高雄日本人学校中学部 2学年だより

し し はく と
獅子 博 兔



校訓「高雄の子ども」

たくましい子

考える子

思いやりのある子

2024年(令和6年)

高雄プレス特別号

文責 猪股大輔

【目標に込めた願い】『仲間を思いやる気持ちを忘れずに、何事にも全力で挑戦しよう!』

「獅子博兔」とは、簡単なことでも全力で取り組むことを意味する四字熟語です。「獅子」はライオン、「博兔」はウサギを捕まえることで、ライオンはウサギのような動物を捕まえるときも、全力で捕まえるということに由来しています。

職業講話

生徒が働くことの意義や意味を学び、将来の進路選択や職業選択をふまえて自分自身の生き方を考えるきっかけを得ることができるよう、職業講話を実施しました。今回は、公益財団法人日本台湾交流協会高雄事務所に勤務されている黒田明日美様を講師としてお招きしました。「働くとはどういうことなのか」「働きがいとは何か」「なぜ、今の職業に就いているのか」「中学生のときにやるべきことは何か」などを話題としていただきました。日本台湾交流協会の仕事、さらには黒田様の出向元である法務省出入国在留管理庁の仕事についてなど、ふだんはなかなか知ることのできないような情報を得る貴重な機会となりました。生徒たちは熱心にメモを取りながら講話に聞き入っていました。「日本台湾交流協会は自分たちがいつもお世話になっていること、そして日本と台湾の文化や企業をつなぐ大切な存在であることが分かった」「自分の可能性を広げるためにも勉強を頑張り、趣味をもったり、特技を身に付けたりしたいと思った」などと、生徒たちは講話後にレポートをまとめました。

